



Center of Japan  
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中  
信州辰野町

# たつのまち 議会 だより No.90

## 改選後新体制が始動!!

**特集** 新たな議会がスタート ②  
新人議員へ一問一答 ⑮

- 6月定例会・5月臨時会報告 ④
- 総務産業常任委員会レポート ⑥
- 福祉教育常任委員会レポート ⑦
- 一般質問 ⑧
- 町民の声 ⑯

編集・辰野町議会広報編集委員会  
発行・辰野町議会

発行日・令和5年8月1日



辰野町議会

写真 いいまちたつの知らせ隊 神戸 (令和4年8月2日撮影)

# 新たな議会がスタート

統一地方選挙を経て新体制をスタートさせた辰野町議会。新人議員6人を迎えて初の定例会を終えました。ここで議員と議会活動を紹介します。 ①抱負 ②辰野町の好きなところ

新たな議会がスタート

6月定例会・5月臨時会報告

総務産業常任委員会レポート

福祉教育常任委員会レポート

一般質問

新人議員へ一問一答

町民の声



**議長**

**舟橋 秀仁**

総務産業常任委員会

①新体制がスタートしました。これからの2年間、タウンミーティング等町民の皆様の声を聞く場を数多く設けて、住み続けたい町づくりに尽力していきます。また議会内もDX推進を始め、時流に沿った改革も行います。先日開催されたほたる祭りは大盛況でしたが、再び活気あふれる町にすべく、議員全員で様々な課題の解決に取り組んでまいります。

②夜空の星がとても綺麗で、静かなところ。



**副議長**

**津谷 彰**

福祉教育常任委員会

①議会副議長に選任され、身が引き締まる思いです。改選では、職業や世代など多様に富んだ議会構成を活かし、町民福祉の向上や、信頼される議会づくりに、より一層、町民に開かれた議会の活性化、改革に努めます。そのために、議員が一枚岩となって研鑽前進する覚悟です。

②「支え合い」の精神が脈打つ辰野町が大好きです。



議席番号1

**古村 幹夫**

総務産業常任委員会

①総務産業常任委員会が取り組む課題は多岐にわたります。他の委員とともに丁寧に対応してまいります。

②高い行動力、発想力を備えた人材が集う町です。この町の未来は明るい。



議席番号2

**松澤千代子**

福祉教育常任委員会  
議会運営委員会

①大人の都合ではなく、子ども目線で子どもの幸福を考えていきたいと思います。

②辰野の好きな景色は辰高第2グラウンドからの町の風景。後は、人の良さですね。



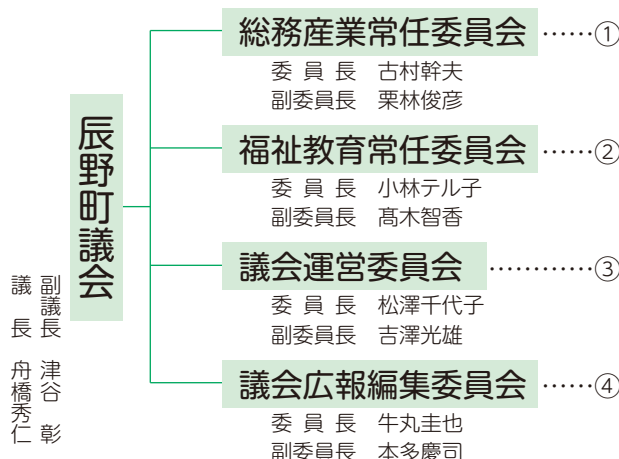
議席番号3

**栗林 俊彦**

総務産業常任委員会  
議会運営委員会  
広報編集委員会

①人と心がつながる進化した商店街に。暮らしやすく活気あふれる町に。

②大城山からの展望が素晴らしい！山頂付近に日本中心の標、ゼロポイント、チョコちゃんポイントもあります。

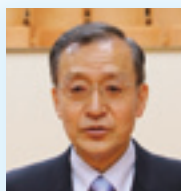


## ①総務産業常任委員会

総務、財政、企画、防災、農林、商工、観光、建設、上下水道及び交通安全と多岐に渡る課題を研究・検討しています。「改善、提言、検証」を町行政と連携しながら進めます。

## ②福祉教育常任委員会

社会福祉、保健衛生、環境保護及び教育を所管とします。地域福祉や教育についての調査・研究を進め、町行政と連携し、住みやすい町づくりのために活動します。



議席番号 4  
**吉澤 光雄**  
総務産業常任委員会  
議会運営委員会

- ①みなさんの願い第一に戦争を防ぎ、誰もが安心して暮らせるよう、みんなで取り組みたい。
- ②大城山からの展望や町中に泳げる川がある豊かな自然と、アクセスの良さが魅力です。



議席番号 5  
**牛丸 圭也**  
総務産業常任委員会  
広報編集委員会

- ①ウェブや議会だよりを通じての議会活動の周知、伝統文化のデジタルデータ化に取り組みたい。
- ②辰野町の好きな所は旧中山道小野宿。歴史ある建物に佇み過ぎた時間に思いを馳せます。



議席番号 6  
**小澤 睦美**  
福祉教育常任委員会  
監査委員

- ①二元代表制のもと、町民の皆さんの声と真摯に向き合い、町政に反映させたい。
- ②国の天然記念物蛇石や三級の滝のある横川深谷。



議席番号 7  
**向山 光**  
総務産業常任委員会

- ①②豊かな自然と調和の取れた産業。それを守り育ててきた先人の智慧と努力に敬意と感謝。不便さを少しでも解消しながら、歴史に学び、この町の「素敵」を次の世代に伝えたい。



議席番号 8  
**本多 慶司**  
福祉教育常任委員会  
議会運営委員会  
広報編集委員会

- ①町を外から見た視線も大事にし、より良い町にして行けるよう尽力していきます。
- ②辰野町の朝がとても好きです。起きるといつも気持ちよく、一日を頑張れる元気をもらえます。



議席番号 9  
**高木 智香**  
福祉教育常任委員会  
広報編集委員会

- ①弱者に優しい町にするため困った人に寄り添っていく。
- ②学校、公園、お店、病院など、ぎゅぎゅつと詰まった辰野町。自然豊かで、ゆったり過ごせるところが大好き。



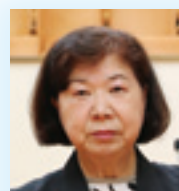
議席番号 10  
**林 政美**  
総務産業常任委員会  
広報編集委員会

- ①町民一人ひとりと地域の願いや思いを実現し、地域で支え合う地域コミュニティづくりを推進します。
- ②自然環境・ひと・日本の中心。好きな場所は、自分を育ててくれた地域です。



議席番号 11  
**本田 光陽**  
福祉教育常任委員会  
広報編集委員会

- ①広く世界に目を向けながら足元の暮らしを大切に。
- ②丁寧に暮らすことができる。友人と料理をしたり、家事洗濯、DIY など、消費よりも生活を目指せる。



議席番号 12  
**小林テル子**  
福祉教育常任委員会

- ①1番のテーマは人口減少を食い止めることです。子育て支援の充実。道路問題もそこに繋がっています。
- ②新町から見る荒神山公園の景色は最高です。四季折々季節の変化を感じとれる瞬間です。

### ③議会運営委員会

議会をスムーズに運営するための話し合いを行う委員会です。定例会の日程や進行手順、議会に関するルールについての話し合いを行っています。

### ④議会広報編集委員会

議会広報を編集発行し、これを通じて住民の関心を高め、広く議会活動への理解促進を図ることを目的とします。

## 令和5年度 議会の年間スケジュール

**定例会スケジュール** 6月・9月・12月・3月  
10月に中学生議会、このほか町民とのタウンミーティングを予定しています。



# 臨時会・定例会で全議案可決

新たな議会で議決権行使と町行政のチェック

● **第3回 臨時会** 5月8日(月) 議会議長、副議長、常任委員等の選出

● **第4回 臨時会** 5月12日(金) 6議案、1発議、各委員の選出

提案された議案は全て全会一致で可決しました。

- **令和5年度 一般会計補正予算(第1号)**
  - ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業  
補正額 1億115万9千円増額
- **令和5年度 一般会計補正予算(第2号)**
  - ・低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業  
補正額 942万9千円増額
  - ・南小、辰野中体育館照明LED化改修工事  
補正額 231万2千円増額
- 監査委員の選任
- 辰野町塩尻市小学校組合議会議員の選任
- 塩尻市辰野町中学校組合議会議員の選任
- 議会広報編集特別委員会設置に関する決議
- 各委員の選出 等

● **第5回 定例会** 5月29日～6月14日 15議案、4報告

提案された議案は全て全会一致で可決しました。

## 令和4年度 一般会計・特別会計

- **一般会計補正予算(第13号)**  
事業確定による予算の増減があった  
補正額 1億195万6千円減額
- **その他の補正予算**
  - ・上水道事業会計補正予算(第4号)
  - ・下水道事業会計補正予算(第2号)
  - ・国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
  - ・国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)
  - ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
  - ・町立辰野病院事業会計補正予算(第2号)
  - ・地域情報告知システム特別会計補正予算(第1号)
  - ・介護保険特別会計補正予算(第4号)

## 令和5年度 一般会計・特別会計

- **一般会計補正予算(第3号)**  
低所得者世帯支援給付金と災害復旧費他の増額  
予算総額 94億4528万4千円  
補正額 1億2238万4千円増額

## 辰野町条例の改正・廃止

- 税条例の一部を改正する条例について
  - ・上位法令の改正のための一部改正
- 都市計画条例の一部を改正する条例について
  - ・上位法令の改正のための一部改正
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
  - ・上位法令の改正のための一部改正
- 町営住宅管理条例の一部を改正する条例について
  - ・入居者不在で老朽化した町営住宅を除却するためのもの
- 辰野西小体育館設置条例を廃止する条例について
  - ・町内小中学校の体育館と同様の位置付けとするためのもの



## 請願・陳情審査、意見書発議

受理番号	件名及び趣旨、提出者及び紹介議員	委員会	本会議	意見書
第10号	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書 ・提出者：辰野町公立学校教職員組合 執行委員長 村澤 陽介 ・紹介議員：高木 智香	福祉教育 賛成 5 反対 0	採択 賛成 13 反対 0	提出あり
第11号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書 ・提出者：辰野町公立学校教職員組合 執行委員長 村澤 陽介 ・紹介議員：高木 智香	福祉教育 賛成 4 反対 1	採択 賛成 12 反対 1	提出あり
第12号	消費税インボイス（適格請求書等保存方式）制度の実施延期を政府に送付することを求める陳情書 ・提出者：上伊那民主商工会 会長 鈴木 正巳	総務産業 賛成 3 反対 4	不採択 賛成 4 反対 9	提出なし

陳情第12号の原案に対して討論

- 原案に賛成意見（高木）：売上1,000万円以下の事業者に対して、税負担・事務作業が増えること、様々な業界から反対の声が上がっていること、また多くの人に関わる制度なのに、理解している人が少ないことが問題である。
- 原案に反対意見（小澤）：国はインボイス制度導入にあたり小規模事業者等に対し、2割特例や補助金支援等を行っている。特に農業者に対しては、農協特例や媒介者交付特例等負担軽減措置の税制改正を行っている。インボイス登録も事業者本人が選択出来る。

## 議員提出議案の審議（議席順）

発議番号	件名及び趣旨	古村 幹夫	松澤 千代子	栗林 俊彦	吉澤 光雄	牛丸 圭也	小澤 睦美	向山 光	本多 慶司	高木 智香	林 政美	本田 光陽	小林 テリ子	津谷 彰	議決結果
第1号	辰野町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
第2号	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
第3号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める意見書の提出	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

## その他主な報告事項

番号	件名
第1号	令和4年度辰野町一般会計繰越明許費繰越計算書及び令和4年度辰野町一般会計事故繰越し繰越計算書
第2号	令和4年度辰野町上水道事業会計予算繰越計算書
第3号	令和4年度辰野町下水道事業会計予算繰越計算書
第4号	令和4年度辰野町土地開発公社事業決算書及び令和5年度辰野町土地開発公社事業計画書

# 委員会 レポート

# 総務産業 常任委員会

常任委員会は、納得いくまで疑問点を突き詰め、言論を戦わせる場だと考えます。私たちの調査や審査が、辰野町の真の利益に繋がられるように意識を持ち続けたいと考えます。

総務産業常任委員会委員長 古村 幹夫

## 陳情審査

### 陳情第 12 号

消費税インボイス（適格請求書等保存方式）制度の実施延期を政府に送付することを求める。

◇趣旨 2023年10月1日から開始されるインボイス制度について、多くの国民や事業者はこの制度を十分に理解できておらず、対応できる状況ではないとし、消費税インボイス制度の実施を延期することを求める意見書を採択し、政府に送付を求める。

#### ○陳情に賛成の意見

- ・中小事業者への影響が非常に大きい中で、現時点で進めるのは、経済面でも大きな影響が出るのではないかと。
- ・本来ならば、この制度に移行する背景から勉強しなければいけない部分がある。
- ・インボイスを導入するメリットについて納得理解できない。また様々な事業者や国民に影響が及ぶ。

#### ●陳情に反対の意見

- ・少なからず益税を受けている事業者がある中で、税の平等な負担が必要である。
- ・延期を求めるのではなく、実施後より良い内容にすることを議論を継続してもらいたい。

#### ○また、賛成・反対のほかに

- ・現時点では、この陳情について十分に理解できていない部分があるとして、継続審査とすることを求める意見も出されました。

□討論の上、採決の結果。賛成と反対が3対3の同数となり、辰野町議会委員会条例第16条に基づき、委員長裁定により、この陳情を不採択すべきと決しました。



## 主な調査研究

### 総務産業常任委員会

- (1) 産業振興に関する調査研究
- (2) 道路問題に関する調査研究
- (3) まちづくり・財政に関する調査研究
- (4) 防災減災に関する調査研究
- (5) 第6次総合計画前期基本計画に関する調査研究
- (6) その他、総務産業常任委員会が主管する分野についての調査研究

### 福祉教育常任委員会

- (1) 町内の教育行政（学校、社会）・保育行政及び町内の教育施設（幼稚園、小・中・高・短大）、保育園に関する調査研究
- (2) 地域包括ケアシステムの構築についてと地域福祉についての調査研究、障がい者福祉の調査研究
- (3) 町立辰野病院のコロナ後の運営についての調査研究
- (4) その他、福祉教育常任委員会が主管する分野についての調査研究

# 委員会 レポート 福祉教育 常任委員会

急激な少子化の中で、教育福祉・学校の在り方検討など課題はたくさんです。

コロナ禍から解放され委員会活動も動き出します。議論を尽くし、様々な視点で調査研究し提言に繋げましょう。

福祉教育常任委員会委員長 小林テル子

## 条例等審査

### 議案第 14 号

辰野西小体育館設置条例を廃止する条例について

◇要旨 辰野西小体育館は昭和 38 年から今年度まで社会体育の施設として町民も使用。辰野西小学校体育館設置条例を廃止して、他の小中学校体育館と同等の扱いにしていく。

問 老朽化が進んでいる。条例を改定するにあたり修理しやすくなるという説明であったが。

答 これまでは学びの支援課と学校支援課と二段階置かないと進まなかった。一元化することによって、迅速に処理できる。補助金等も取りやすくなる。

補足 老朽化が激しいため、学校施設として補助金を活用し耐震改修する。

□審査の上、採決の結果。出席者全員一致で可決すべきものと決しました。

## 請願審査

### 請願第 10 号

「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」について

#### ○主な意見

- ・一人ひとりに寄り添える教育が大事と考える。
- ・義務教育費国庫負担制度を 2 分の 1 に戻すという事に理解を示す。
- ・1 クラス 35 人でも多いと感じている。
- ・さらなる少人数学級が教員の働き方改革でないことが確認できた。

□討論の上、採決の結果。出席者全員一致で採択すべきとし、意見書を提出することに決しました。

#### □意見書（一部抜粋）

1. どの子にも行き届いた教育をするため、さらなる少人数学級推進と教育予算を増額し、複式学級の学級定員を引き下げる。
2. 教育の機会均等とその水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担率を 2 分の 1 に復元する。



### 請願第 11 号

「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」について

◇趣旨 へき地手当は国から県に交付されており近隣県では、文部科学省令で定める率に準拠して支給。長野県では 2006 年度から支給率を国の定める基準の 8 分の 1 にした。長野県では「教員不足」が大きな課題となっていて、県境付近では賃金格差から隣県への流出も起きている。このことから県教育委員会に対して、へき地手当支給率を近隣県並みに回復することを求める。

#### ○請願に賛成の意見

- ・昨年 53 人の先生がやめていく現状を憂慮。教育の人材確保は大事。
- ・やがては上伊那にも及んでくる問題。長野県独自の手当はないことが確認できた。
- ・中堅の先生が働きにくいへき地の実情を確認。教育格差が生まれると理解した。
- ・へき地の実態を見る中で厳しい下伊那の実情がわかる。

#### ●請願に反対の意見

- ・長野県内のへき地手当は民間企業では、すでに廃止されて久しく、そうした時代背景の中で低い水準であることは当然と捉えられる。

□討論の上、採決の結果。賛成 4 名、反対 1 名となり賛成多数で可決すべきものと決し、意見書を提出することに決しました。



いっ ぱん しつ もん  
一 般 質 問

一般質問には 13 名の議員が登壇いたしました。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち	
辰野町第6次総合計画について	林
有機農業産地づくりの推進について	林
板沢地区最終処分場建設計画について	向山
太陽光発電施設設置事業に関連する課題について	向山
令和4年度のふるさと納税の状況と分析	小林
小野区太陽光発電施設について	牛丸
「有機農業推進のまち」宣言について	小澤
有機農業推進の町宣言における今後の進行について	本多
ほたる祭りについて	松澤
みんなが活躍できるまち	
人口減少対策について	林
結婚支援・移住婚支援の取り組みは	小林
人口減少対策への取り組みについて	栗林
辰野町職員の取り組みについて	栗林
更なる人口減少、少子化高齢化が予測される現状における将来的な街づくりへの姿勢	本田
いつまでも健やかに暮らし続けられるまち	
マッサージ等施術費助成制度について	吉澤
後期高齢者医療保険について	吉澤
児童発達障がい現状と辰野町の児童発達支援への対応状況は	小林
高齢者のための公民館活動を活発に	松澤
次代を担う人材が育つまち	
「たつこの学舎」の進捗について	向山
学校あり方検討委員会の立ち上げの進行状況	小林
教育問題について	小澤
こども基本法の施行について	松澤
辰野町 DX 推進戦略の進捗と生成 AI の導入について	津谷
川島小学校の統廃合問題と今後について	高木
平出保育園移転問題について	高木
就学援助制度の運用と拡充について	高木
活力と魅力ある仕事のあるまち	
農業振興について	向山
かやぶきの館の今後について	吉澤
灯油代の助成金について	牛丸
辰野町を彩りある町に	本多
ときめきの街の空テナントの件	本多
体験型観光の取り組みについて	古村
安全で快適に暮らし続けられるまち	
辰野町道路網計画について	林
町道8号線歩道改良について	吉澤
大雨、洪水災害対策について	吉澤
避難所の耐震について	牛丸
災害時等の情報発信とコミュニティFMの導入について	津谷
命と健康を守る熱中症対策の拡充について	津谷
持続可能なまちづくりについて	栗林
防災力を高めるための森林強靱化について	古村
災害支援チームのこれからについて	古村

※ QR コードを読み取ると各議員の一般質問の様子をご覧ください。



辰野町 第6次総合計画の 取り組み状況は

町長 計画に沿って 事業を推進中

**問** 総合計画は基本構想、基本計画、実施計画からなり、各区地域においては、地域計画があるが、単年度見直しの実施計画で令和4年度末の事業の進捗状況について、動きのあるものを報告願いたい。

**課長** 新たな価値を創造するために挑戦する事業者への支援は、令和3年度が25団体、商工業振興補助金の利用数が18件。他にも進捗があった。昨年度の状況を評価、検証する中で見えてくる課題を意識し、継続的に事業を進める。

辰野町道路網計画の推進状況は

**問** 辰野町道路網計画推進にあたり、住民の合意形成や周知方法をどのように行っているか。

**課長** 道路委員会を立ち上げて住民の理解を得る活動をし、地権者の同意を得て事業採択に向けて努力している状況。現在は宮所区の国道への歩道設置事業が進められている。

有機農業産地づくりに必要なことは

**問** 宣言により、地域の産業振興や新たな産業の創出につながり、活気ある街づくりのきっかけになったと思う。有機農産物の町内消費を進める為に必要なことは。

**課長** 住民の中には有機農業に難しいイメージを持つ人が多く、メリットを伝えていくことが大切。有機農業推進のまち宣言に合わせた講演会の内容を周知していくほか、同様の講演会も開催したい。



「有機農業推進のまち」宣言の記念講演

第2期創生総合戦略による人口減少対策の状況は

**問** 人口減少対策として、交流人口・関係人口の拡大、移住・定住の促進を図る為に町として取り組んでいることは。

**課長** 「第2期辰野町、まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に令和3年度から5年間を実施期間とし、主に人口減少対策を実施する為に関連する事業を取りまとめている。交流人口・関係人口の拡大が見られ、移住定住も徐々にではあるが進んでいる。彼らを積極的に受け止め、関わりを継続していくことが地域の活性化へつながると考えている。



## 板沢最終処分場 状況どう考える

**町長**

解決の糸口が  
見え隠れの状況



**問** 組合議会でも計画見直しの言及があった。岡谷市長も交代する。取り組みのギアアップを。

**町長** 計画白紙撤回の決断は湖周組合側にある。町としては建設反対の立場を鮮明に表明し続けることが大事だ。

### 太陽光発電、条例逃れや条例無視への対応を

**問** 町では規制対象外となっている10kw～30kwも規制すべきでは。

**課長** 県が9月に条例制定予定であり、県条例等との齟齬の解消を前提として、環境審議会に諮りたい。



事業者が倒産し放置されている現場

### 有機農業推進に向けて課題解決の取り組みを

**問** 有機農業に対する定義、基準、栽培技術の確立、技術指導等の課題は。

**課長** 農業者、営農団体関係者等と意見交換を重ねて課題解決を図る。

**問** 有機農業推進には農地集約、周辺住民や消費者としての町民の理解・協力が必要となる。

**町長** 食料自給率の向上、地産地消の促進、新規就農など、町の方針を丁寧に周知していく。

### たつのご学舎やLD等通級指導教室の取り組みは

**問** 学校に足が向かない子どもへの支援「たつのご学舎」やLD（学習障がい）等通級指導教室の対応は。

**教育長** 「たつのご学舎」は1か月毎のカリキュラムを立て、教室への復帰を目指す。LD等通級指導教室では学びや対人関係に課題がある子どもに通常学級に在籍のまま、別室で個別指導を行う。県教委からの配置教員で、配置年数の制限はない。

## マッサージ助成券 制度内容と普及・ 改善は

**町長**

70才以上の町民が対象  
周知と見直しをする



**課長** あんま・マッサージ・指圧、針・灸の施術を受ける場合、町が1回800円の助成券を年3枚まで交付する制度。古くからある制度だが、昨年度利用者は2人で、あまり知られていない。

### 町道8号線改良の概要と予定は

**課長** 歩道を今より10cm下げる。延長660m、総事業費2億円。令和8年度までの国庫補助事業。本年度、個人の立会説明も行い、一部着工する。



町道8号線の現状

### 宮木西山地域の雨水排水対策は

**課長** 天竜川まで一気に抜かないと対策できないが、間には西天竜などがあり難しい。

### かやぶきの館の運営見直しは

**問** 旅館や食堂は本来民間がやる事で、当初から必要性和採算見通しに批判が強かった。開所以来24年間毎年赤字で、町の負担は累計6億2千万円。他に管理業者の赤字が累計1億3千万円。累計赤字は7億5千万円。コロナ前も年4～5千万円の赤字だった。これだけの負担を続けて良いのか。民間譲渡や冬場の事業縮小も視野に入れ、抜本的な見直しが必要では。民間への譲渡は可能か。

**課長** 国の補助を受け建設。木造部分は処分制限期間を過ぎているが、有償譲渡の場合、浴室棟は一定の補助金返還が必要。事業前提に土地を借りているので、売却は簡単にはいかないと考える。

**問** 専門家に経営分析を依頼してはどうか。

**課長** 公共施設なので、単純な分析は難しい。

**問** 有識者、関係者、町民含めた組織の検討は。

**課長** 立上げを検討している。

### 高齢者医療保険負担軽減申請のサポートは

**課長** 該当する町民12人の方から軽減申請がない。分かりやすい案内やサポートをしていきたい。

小林  
テル子  
議員



## 子育て応援課 新設への 町長の思いは

**町長**

国と連携して誰一人、取り残さない子育て支援の実現のため

### 児童発達障がい支援の現状は

**問** 児童発達障がいとは。発達障がいの発見、気づきのタイミングは。

**課長** 脳機能の発達に関する障がいのことで、脳の動きの違いのアンバランスから起こる現象。その子の特性を理解することで個性へと変化することもある。早期の気づきと適切なサポートが大切。町では乳幼児健診の際に医師・保健師・心理士等が対応する中で気づくことができる。

**問** 支援を受けるには受給者証が必要だが、発行状況と支援を受けるまでの流れは。

**課長** 全世代で234件、18歳以下で49件、未就学児童10件である。受給者証取得には、身体障がい者手帳、療育手帳、精神保健手帳、特定医療費受給者証等を所持しているか、医師の診断書が必要。保健福祉課、相談支援事業所に相談し、子どもにとって何が必要か判断して支援へつなげる。

**要望** 支援の手続きの流れがわかりにくい。関係機関の連携をよくすることと、手続きの流れのわかる冊子の作成と児童発達支援事業所一覧の作成を要望。

**課長** 事業所一覧と支援の流れの冊子を作成する。12月の障がい者週間には広報もしていく。

### 令和4年度のふるさと納税の実績と状況分析は

**課長** 納税件数は280件増えたが金額は8819万円で前年比2094万円の減であった。季節品目に依るところが大きく、不安定。通年安定した品目が必要。



**問** 返礼品に使われている、観光協会認定「特産品」と、「極・辰野の特産品」の違いを明確にしてほしいが。

**課長** 町民にわかりやすく違いを説明していく。

### 「学校あり方検討委員会」の立ち上げは

**教育長** 現在、設置要項を作成中。今年度中には町全体の配置や新たな学びの場を考えるための検討委員会を立ち上げる。

### 婚活支援・移住婚活支援の取り組み状況は

**課長** 今年4月に結婚相談の委託先を変更した。町として県の移住婚活ブースに参加予定と10月に対面型婚活イベントを実施する。

牛丸  
圭也  
議員



## 避難所と公共施設の耐震診断の実施状況は

**町長**

新耐震基準以降に建てられたものを加えて全体の81.3%

### 避難所の耐震診断の実施状況は

**問** 小野農民研修センターに実施した耐震診断の結果は。

**課長** 24年度に耐震診断を予定していたが実施されていない。地元負担金も発生することから、耐震診断の実施を見送った。

**問** 避難所に指定されている施設の耐震診断を実施する考えは。

**課長** すべての指定避難所を耐震化するのは難しい、災害種別に応じて適切な避難所への誘導を行なう。

### 酪農家への灯油代の助成金は

**問** 花卉農家だけに灯油助成金が出ているがなぜか。

**課長** 経営費に占める燃料費の割合が他の農業事業者に比べ高く、地方創生臨時交付金を活用し施設園芸農家支援金として灯油購入助成金を交付した。

**問** 酪農家に対してなぜ灯油助成金は出ないのか。

**課長** 酪農家は花卉農家と比べ、経営費に占める燃料費の割合が低いという想定の下での判断。

**問** 酪農家に対して他に助成金はないか。

**課長** 有機農業推進するにあたり土壌改良を担う辰野町土づくりセンターの厩肥受け入れ価格を、飼料価格高騰を受け、令和5年度から1t当たり200円上乗せし1,000円にしている。

### 小野区太陽光発電施設の現状は

**課長** 太陽光発電施設を設置済みの三事業者から施設の撤去、未設置の一事業者から施設建設をしない旨の意思が示された。

**問** 現地の放置資材と売買済みの土地について予想される展開は。

**課長** 破産事業者の財産の有無は不明。債権者集会で把握を予定している。

**問** 太陽光発電施設建設中止後の展望は。

**課長** 施設の撤去と施設建設をしない確約について注視したい。その後、町と地域住民とが一緒になって考え、原状復帰に向け問題を解決していきたい。



## 統合後の川島小学校 地域活性化のために 普通財産での活用は

**町長**

普通財産・行政財産  
まだ決まっていない



小澤 睦美 議員

### 川島小学校の統合に向けて

**問** 令和7年3月31日に西小学校に統合される川島小学校跡地利用について検討状況は。

**課長** 現在使用方法等について川島区と協議を始めた段階。普通財産とするのか、行政財産とするのか決まっていない。地域住民の意見も聞いていく。

**問** 統合に対する川島小学校保護者懇談会における保護者の不安に対する今後の対応は。

**教育長** 辰野西小学校との交流事業で一定の成果が見られた。今後も両校のギャップを低くする取組みを進める。

### 不登校児童への対応は

**問** 全国的にも不登校児童生徒が増加傾向にある。辰野町の状況と対応は。

**教育長** 辰野町では増加していない。町の対応として、中間教室や本年度立ち上げた「たつのこ学舎」などで対応していく。

**問** 新たな辰野町立小中学校あり方検討委員会を立上げ、校舎併設型小中一貫学校を検討すべきだが。

**教育長** 検討委員会では、配置だけでなく、辰野町にあった、学びの環境やスタイル、地域における学校のあり方も含め考慮して行かなければならない。このような多岐に亘る問題を協議出来るような検討委員会としたい。

### 「有機農業推進のまち」宣言後の進捗は

**問** 有機農業に取り組むほ場の団地化検討状況は。そば団地化は。

**課長** 有機農業推進にあたり団地化は有効な手段であり検討中。そばほ場の団地化は、引続き農事組合法人たつの営農と連携していきたい。

**問** 町内産有機食材の学校給食への提供は。

**教育長** 給食は食に対する学習の一環で、町内産有機農産物は魅力的でもある。一方で1ヶ月前には献立が決まり10日前には発注される。生産者側も見通しを持った対応が必要となる。



有機栽培試験ほ場

## 「有機農業推進のまち」 宣言後の動きは

**町長**

講演や研修会を  
積極的に



本多 慶司 議員

**問** 「有機農業推進のまち」宣言発表の際も、様々な意見が出ていたが、町としての方向性は定まってきたか。

**課長** 町農業振興センターが有機質堆肥を使った土壌作りを実施している。野菜の栽培講習会の開催も検討中である。

**問** 食の安心・安全の推進も兼ねて、学校給食等でも辰野産野菜、有機野菜を積極的に取り入れて、有機野菜を身近に感じてもらう考えは。

**教育長** 旬の野菜を教えることも大事。無理せずできる範囲から始めていきたい。発注の課題もある。まずは一年を通して生産量などの把握から始めていく。

**課長** 学校給食に提供できる農家を増やしていく必要がある。新たな取り組みを模索したい。

### 辰野町を彩りある町に

**問** 荒神山公園を彩りある花の名所にし、町の集客に繋がるようにしてみたい。

**課長** 現状でも季節ごとの彩りはされていると認識している。公園の在り方の検討が進行中。方向性を見極めて対応する。



荒神山公園の現状

### 「ときめきの街」空テナントの有効活用は

**問** ときめきの街の空きテナントの有効利用や誘致はできないか。イベント活用でも良いと思うが。

**課長** 民間企業のもので関与はできないが、団体などから活用の申し入れがあれば事業者に伝えたい。

まつざわ 千代子 議員



## こども基本法 施行で 役場の体制は

**町長**  
子育て関係業務を  
一元化してわかりやすく

**問** 4月から施行されたこども基本法とは。  
**町長** 子どもの権利条約4つの原則により、子どもの権利と幸福を守るもの。

**問** 町の方針は。  
**課長** 新設された子育て応援課が中心となり、安心して子育てができる環境作りを目指し、子どもの貧困やヤングケアラー等の様々な問題に取り組んでいく。

**問** 学校で子どもたちへ説明をしたのか。  
**教育長** 文科省の学習指導要領には明記されていないため、子どもへの説明はしていない。まずは教職員の研修等が必要だと思う。権利保障の理念を根付かせることは大切だが、権利とわがままとの境をどう指導していくか等、現場の先生方の研修が必要であると考えている。

**問** 宮木の南町では危険な河川等があるため、子どもが安全に遊ぶことのできる公園が欲しいが。  
**課長** 交付金事業としては、要綱を満たしていない。交付金なしで計画すると、用地取得から維持管理まで関係者の合意形成が必要となる。

### ほたる祭りの全体像は

**問** 祭りの全体像が町民に伝わらず、不安が広がっていたが。

**課長** 新たな実行委員会の体制が2月に承認されたが、従来の実施方法が踏襲できなかったため内容の調整に時間がかかってしまった。コロナ前のように委託業者の人員確保もできず、団体によっては以前のようない言われたケースもあり苦慮した。今回の運営方法を有効に引き継いでいきたい。



ほたる祭り開幕式

### 公民館活動を活発に

**問** 地区の公民館に出前講座を。  
**課長** 年1回の講座で現在行っているものはある。  
**要望** 役員会で周知するのは、新年度の4月ではなく前年度の10月～12月にしてほしい。

つづや 彰 議員



## DX 推進による 町民ニーズの 反映は

**町長**  
窓口の一本化の  
向上に努める

### 災害時の情報発信とコミュニティFMの導入は

**問** 災害時には迅速な情報提供が不可欠。当町における災害時や緊急時の情報発信の現状と課題は。

**課長** 防災行政無線、ほたるチャンネルなどを使用し、場合により巡回等も行方。情報が着実に届いているか把握する手段がない。複数の手段を使って情報の同時発信に努める。

**問** 災害時に情報収集や伝達手段として役立つため、ラジオを活用したコミュニティFMの導入を求めるが。

**課長** 設置場所、導入後の維持管理、費用対効果など様々な課題があり、町内に独自のラジオ放送局を開設することは難しい。



防災リュックに  
配備されているラジオ

### 辰野町 DX 推進戦略の進捗と生成AIの導入は

**問** 辰野町 DX 推進戦略は、2025年度までを戦略期間として策定されているが、今年度の取り組みは。

**課長** 災害時等における職員の迅速対応につながる参集システムを導入。保育園また学童の保護者との連絡、お知らせ等のオンライン化。行政手続きや各種申請等における電子申請の促進。ペーパーレス化や、キャッシュレス対応の窓口の拡大といった課題にも取り組む。

**問** 自治体による生成AIの導入は、DX推進の観点から無視できない課題。当町での導入の検討は。

**課長** 業務の効率化を期待し、今後検討する。AI技術の活用は、4月からAI音声文字起こしツールの利用を開始して、業務時間の短縮に役立っている。今後も、AI技術の活用ができる業務の範囲を広げていく。

### 命と健康を守る熱中症対策の拡充を

**問** 災害時や緊急時の避難所としての活用を視野に体育館へのエアコン設置を求めるが。

**課長** 体育館の長寿命化改修等、大規模工事と合わせ、断熱性能を確保した上で空調設備設置の検討をする。

## 人口減少対策と持続可能なまちづくりは

### 町長

対面式による婚活を積極的に進める



栗林 俊彦  
議員



**課長** 結婚新生活の経済的負担を軽減するために、住居費等に対する助成の取り組みを行っている。条件をクリアすると最大 60 万円の補助。

**問** 出産・育児・子育て支援の取り組みは。

**課長** 出生数は、ここ数年 100 人前後で推移していた。令和 3 年 75 人に減少したが、令和 4 年 82 人で若干増えた。これまでに子育ての段階に応じた環境の整備や、健診・予防接種の実施を始めとする各種支援・相談窓口など様々な取り組みにより、一定の成果に繋がっている。



**問** 子育て世代に特化した移住定住の取り組みは。

**課長** 子育て世帯のマイホームの夢を応援する辰野町定住促進奨励金と空き家バンク制度がある。

### 職員の居住地、災害発生時の危機管理体制は

**課長** 現在、辰野病院の職員を除く常勤職員 225 名の約 3 割に当たる 64 名が、町外から通勤をしているが、1 時間以内で通勤できる範囲に居住している。危機管理部局・ライフラインに関わる部署について町内在住の職員が担当、または別の担当者により、災害発生時の緊急対応ができる体制は整えている。

### 持続可能な町づくり、暮らしやすい町の基本構想は

**課長** 辰野町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、①たつので働く：商工業・農業の振興・人材の育成。②たつので繋がる：移住定住・関係人口の推進・交流人口の拡大。③たつので育てる：結婚・出産・子育ての応援。④たつので暮らす：生活環境の向上・健康づくりの推進。等目標を定めている。毎年進捗状況の確認と評価を行い、住民ニーズの把握、施策の見直し、事業の内容の磨き上げを行う。暮らしやすさ、満足度上昇のために総合戦略を推進する。

**問** コミュニティの維持、地域運営の取り組みは。

**課長** 17 区で地域が主体となってそれぞれの特性、地域の課題や魅力、人口減少の問題、いずれも見える化した地域計画を策定し、町全体で共有。

**要望** 10 年後・20 年後・30 年後でも消滅可能性自治体にならないように、この取り組みを怠ることなく継続し、辰野町の存続と更なる発展を願う。

## 土砂災害に対する住民参加型防災マップの作成状況は

### 町長

8 地区で作成済  
当年度は下辰野で実施



古村 幹夫  
議員

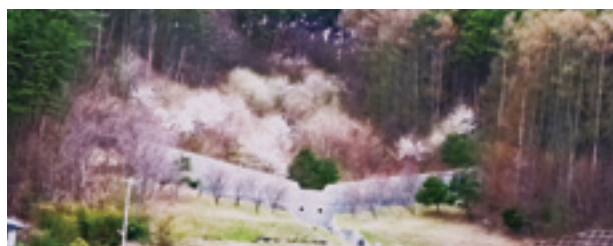


### 防災力の高い森林づくりに向けた町の取り組みは

**町長** 長い期間がかかるが、所有者や地域の協力を得ながら、ケヤキなど根に付着する土の塊が大きい樹種や、直根が伸長する苗木を植えて、砂防えん堤や流路工と併用して強靱化を図っていく。

**問** 森林資産の活用と防災事業を絡めた木材の流通機構構築を提言するがいかがか。

**課長** 新たな資源価値としても期待が高まっているが、個々の課題も多い。辰野町の森ビジョンを策定中なので、この中に防災力の高い森林づくりに向けた提言を盛り込んでいく予定。今後も研究をしていく。



美しく強い森林を

### 今後の災害支援チームはどのような形で活動をしていくのか

**課長** 令和 4 年度の登録者数は 6 名にとどまり、具体的な活動の検討に至らなかった。今年度については、より多くの方が気軽に参加しやすい内容に見直し、メンバーの協力拡大をはかっていく。

**問** 平時の活動を充実させる必要があるのでは。

**課長** 当年度は、メンバーが互いに知識や情報を持ち寄り、日常的に情報交換ができる仕組みを構築していく。

**問** 災害に備え、重機などの機材と訓練場所の確保を提案するがいかがか。

**課長** 維持管理や指導者の確保など、行政としての対応は難しいが、当年度の防災訓練の一環として、地域や民間の取り組みを支援していく。

### 草刈り、トラクター、建設機械などの操作を通じた体験型観光の提案をするが実現の可能性は

**課長** 安全性がしっかりと担保され、観光業として収益が確保できることが重要であり、町として取り組むのは難しい。実施主体があれば、町としても情報発信に協力していく。

本田 光陽 議員



人口減少・少子高齢化が続く現状における街づくりは

**町長**  
新たな発想で町の活性化に期待する



高木 智香 議員



平出区内に平出保育園移転を

**町長**  
今後平出区と話し合いを進める



**問** 移住者や関係人口と呼ばれる人々と地域コミュニティとの関わりについて。

幅広い属性の住民の視点を基に町と各区とが連携しながら、今本当に必要な作業の洗い出しをする時期に来ているのではないかとの声もあるが。

**課長** 区長会では転入者が町内会や行事に参加して頂けないといったことが悩み。

時代の変化に合わせて考え方は多様化している。守っていくべき大切な部分もあるが、変えていかなければならない部分も多くあると認識している。住民同士の対話や、同じ体験を共有していくことが大切であると同時に、若い人の発想や力を求めている。時代に合わせた変化を。各区と町との橋渡しをする

職員地区担当制がある。区の要請に基づいて話し合いや必要な支援をしているので活用してほしい。



空き家を利用したDIYイベント

**問** 人口減少に伴い公共サービスに関わるコスト面からも将来的には現在の町の形を維持することが困難になると予想されるが、コンパクトシティ実現への構想は。

**課長** 人口減対策として、第二期まちひとしごと創生総合戦略を作成し実行中。内容としては商工業の振興、移住定住関係人口作りの推進。移住制度に関しては、空き家バンクに特に力を入れており、定住促進奨励金、空き家の家財道具片付け補助金、不動産仲介手数料の補助金を三つの柱として進めている。コンパクトシティ実現への前提として、生活基盤となる商業施設や、自治会等の地域コミュニティのあり方も変化していくことが予想される。公的機関、福祉教育施設などを町の中に集約することにより人口密度を一定以上に保ち、持続可能な地域を目指す。

### その他

**問** 多様化する働き方・暮らし方に合わせたまちづくりの姿勢は。

**課長** 積極的に地域づくりに関わる人を増やすことが大切。良さを残しつつ時代に合わせた進化を。

**問** 町は、東小複合化と東部保育園統合の2案で検討している。平出区や保護者からも区内への移転新築の要望が出ているが。

**課長** 区内の用地確保が難しい。今後平出区と協議を重ね、住民説明会も行う。

### 就学援助制度の拡充を

**問** 今年度、就学援助を受けている家庭で、修学旅行費用の支払いが困難な家庭があり、教育委員会は修学旅行費の前倒し支給をして対応した。それにより全員で修学旅行に参加することができた。修学旅行費の前倒し支給を要綱に明記することはできないか。

**課長** 明記することはせず、その都度話を伺って対応する。困った時はすぐ相談してほしい。

**要望** 今後も素晴らしい取り組みを続け、学校にも積極的に連絡を取り、家庭内だけで問題を抱え込むことのないようにしてほしい。

**問** クラブ活動費を援助対象にできないか。

**課長** 限られた予算の中で、支給項目を増やすことよりも、支給対象の拡充に取り組んでいる。今後、近隣市町村の動向をみて検討したい。

### 川島小児童への対応は

**問** 川島小児童へ統廃合に至った理由を説明することは考えているか。

**教育長** 今学期中が夏休み明けか、時期は決めているが、必ず説明する。

### 学校施設の後利用について検討は

**問** 学校施設後利用について、教育委員会と町は考えているか。

**教育長** 閉校後、この財産を最大限に活用したい。地域活性化や町民の新たな学びや体験の場等についても考えていきたい。

**課長** 川島区民の要望を聞き、一緒に考えていきたい。現在、川島で行われている取り組みを町も支援する。



川島小学校運動会から

# 一問一答

## 議員のあり方・求められる議員像とは —初めて議員を始めて—

### 問 立候補を決意した理由はなんですか？

**本多**：仕事を通じて辰野町と関わることができるようになった。町との意思疎通を深め、町の良さを周知できると考えた。

**牛丸**：自分のスキルとアイデア、人脈で地元と辰野のお役に立てると考えた。

**栗林**：生まれ育った辰野町の発展も衰退も見てきた。町の変化に直接関わり、人の声を聞き行政に繋がりたい。

**高木**：議員の高齢化、女性議員の少なさ、そして子育て世代の声を町政に届けたい。

**本田**：国内外を転々としている中、自分の時間やエネルギーを使って身の周りの世界を良くしたいと考えた。

**林**：農業関連団体の事務局を務める中で、共働の町づくりにつながる共存共栄社会の実現を目指して立候補を決意した。

### 問 当選し初めて議会を経験した感想は？

**本多**：役場職員や町民の方々ともっとコミュニケーションを取りたいと思うようになった。

**牛丸**：私の発言は私個人のものでなく、私が代表する人々の声であると実感した。公私の境界線が曖昧な感じになった。

**栗林**：周りの意見を聞くようになり、人との関わり方・話し方が変わったと言われる。

**高木**：立候補し、沢山のひとと話し、自分の知らない事と困り事の多さを痛感した。傍聴では分からない一般質問準備の作業量に驚いた。

**本田**：僕はアシストで、シュートを打つのは町民の皆さんだと感じた。4年間でいいアシストができるようになりたい。

**林**：議場へ入る時の底知れぬ緊迫感、厳粛な感じ、議員としての責任を感じた。町民の声の根底にあるものを意識するようになった。

### 問 議会活動以外では何をしていますか？

**本多**：たつのパークホテルでの仕事。ほたる祭りでは焼き牡蠣の露店販売をした。

**牛丸**：Webやチラシ、大型POPなどのデザイナー業と、小野区書記をしている。

**栗林**：議員になって設けた事務所に通い、的確に議会の情報を引き出せるよう、曖昧な記憶ではなく、明確な記録としての情報整理に勤しんでいる。

**高木**：議員になった後に知り合った人の話を聞きに行く、役場に行きづらい人に寄り添いたい。なんでも相談に乗るスタンス。今後は、研修や視察に時間を使いたい。

**本田**：カレーの惣菜を販売する準備をしている。町外から辰野町に遊びに来た友人にこの町の良いところを紹介している。

**林**：辰野町農業振興センターと農事組合法人たつの営農の事務局と農業をしている。

### 問 議員としての取組みについて聞かせてください。

**本多**：理想の議員像はニーズで常に変化する。頑張っている人に寄り添い成果を出したい。

**牛丸**：町政や議会に興味を持ってもらえるように取り組む。声を届けるだけでなく実現させることを目指す。

**栗林**：町民の思いを実施できるように、住民に代わり行政を見守りたい。多様な議員は、多様な人の代弁者になれる。全議員で多種多様な住民が参画する議会に。

**高木**：弱者に優しい町はみんなが幸せな町。少数意見であっても困っている人の声を必ず町政に届ける。

**本田**：次世代の人達が生きやすい社会を作っていきたい。輝いている大人の背中を見せたい。

**林**：町民一人一人と地域の願いや思いを実現していく議員を目指している。住民と議会がいつでも意見交換できる仕組み作りをしたい。



本多 慶司

牛丸 圭也

栗林 俊彦

高木 智香

本田 光陽

林 政美

議員が町に出て  
聞きました

# 町民の声



これからも  
みんなの声を  
聞きにいっよ

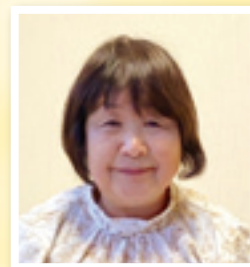
テーマ アフターコロナでしたいこと



下島 日向さん(平出)  
大槻 咲楽さん(赤羽)

信州豊南短期大学の学生です。コロナ禍では学校のイベントがほとんどできなかったため今年の夏は色々楽しみたいと思います！修学旅行で行けなかった九州に行きたいです。

ライブにもいきたいです。川でみんなとBBQもしてみたいと思います。アルバイトも頑張ります。



熊谷 芳美さん(羽場)

普段は子供たちの健やかな成長を願い、おいしく食べてもらえるように給食を作っています。そして4人の孫のおばあちゃんでもあります。コロナが終息したら子供達や孫と一緒に以前のようにバスや新幹線や飛行機を使って安心して旅行に出掛けたいです。

まず、コロナでできなかった仲間との飲み会やバーベキュー等の対面コミュニケーション。今年は同級会の企画も思案中です。次に、海外旅行。子供に日本では出来ない異文化を体験させたいです。そして、色々なイベントに参加して写真を撮りたいです。また受賞を狙います！



中村 和也さん(小野)



林 絵里花さん(宮木)

コロナ禍で卒園・入学を迎えた長男と次男。コロナ禍で産まれた三男。園内・校内でもマスク生活で楽しみな給食の時間も黙食。保育園の記念写真はどれもマスク姿。コロナが段々落ち着いてきた今、のびのびと楽しんでいる子供たちの写真をたくさん撮りたいです。



林 成美さん(下辰野)

4年ぶりにほたる祭りが通常開催されました。中止や縮小されていたイベントやコミュニティが戻り、様々な人にとって楽しめる機会が増えることを期待しています。個人としては、そこから持続的な場や、人と人との繋がりに発展させていきたいと考えています。

コロナウイルスの進行によって、人とヒトとのふれあいや交流の場が無くなりました。小さな集まりの輪(和)が地域の活性化に繋がると思います。子供から大人までみんなが集え、元気な声や明るい笑顔が生れる場所(居所)を積極的に創っていきます。



野澤 義清さん(北大出)

## 次回定例会のご案内 9月定例会予定

開 会	8/29(火)
一般質問	9/7(木)・8(金)
委員会審査	9/11(月)・12(火)・13(水)
閉 会	9/20(水)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。

## 編集後記

甚暑の候、町民の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

新人議員6名全員で、緊張の初定例会議を経験し、議会だより編集に夢中になって携わりました。

皆様の声をお寄せください。より充実した内容にできるよう頑張ります。

残暑のみならず未だコロナ禍中で落ち着かない日々が続いております。くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

広報編集委員長 牛丸 圭也

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。